



心を一つに ～年長ミニコンサート～

28日(水)に、年長さんの“心を一つにした”ミニ・コンサートが開かれました。年長さんにとっては、12月の劇の発表会、1月の竹馬披露会と、大きな行事が続いた後のミニ・コンサートでしたが、練習時間が少ない中で見事な合奏と合唱に、参観者から割れんばかりの拍手が起きました。

練習初めの頃は、鍵盤ハーモニカを弾く指が自信なさそうに動いていましたが、日々の猛練習のたびに、「園長先生、見て、見て」とあちこちから声がかかり、子どもたちが少しずつ自信をつけていったのが分かりました。また、コンガ、ギロなどの珍しい打楽器に初めて触れた子どもも多く、そんな打楽器を好んで選んでいたようです。初めて扱う楽器ですから、演奏の仕方が分からず、恐る恐る触れる程度から、リズムに乗って体を動かした演奏へと様変わりをしていましたが、今日の演奏をご覧になっていかがでしたか。

一人ひとりが、受け持った楽器を音符通りにどんなに上手に演奏しても、一つの楽器だけでは、美しい響きにはなりません。それぞれの楽器の持つよさを合わせ、心を一つにしてこそ、全体の美しい響きになっていきます。正しく、本園が目指す思いやりの心です。鍵盤ハーモニカや木琴、鉄琴などのメロディー楽器も、大太鼓、小太鼓やカスタネット、シンバルなどの軽快なリズムが加わることによって、美しい楽曲となります。

合唱も日頃、歌っている歌だけに、大きな声で楽しく歌っていました。幼児期の子どもたちにとって、「腹筋を使ってお腹から声を出して」とか、「頭声的な発声をして」というのは無理な注文ですから、歌声というよりも、大きな口を開けて思い切り歌う方が子どもらしくてよいと思っています。

そして、合奏にしても合唱にしても、楽曲のリズムに合わせ、体全体を使って演奏する子どもたちを見ていると、「音楽っていいなあ」としみじみと感じます。



仮園舎工事に伴う行事の見直し

仮園舎の工事がなかなか始まらず、本当にいつできるのかなと心配されてた保護者の方も多かったと思います。ようやく福岡市や消防署の方から建築許可が下りましたので、本格的な仮園舎建築工事が始まります。引っ越しを3月末に予定していましたが、工事計画が予定よりかなり遅れましたので、引っ越しを4月第1週に延期しなくてはいけない状況です。工事期間が短いために土曜・日曜日を返上しての突貫工事になりそうですが、期日に間に合わせるために手抜きをせず、くれぐれも、安全確保には努めていただきたいと、工事関係者の方に強く要望しているところです。

今回はテニスコートに建つ仮園舎ですから、場所や経費の問題から、必要最小限の教室しかできません。従いまして、全員が集まる遊戯室や大きなガス設備のある台所がありませんから、来年度の行事を見直す必要があります。子どもたちや保護者の皆様には、ご迷惑をおかけすることになりますが、仮園舎でも出来得る限りの行事は行い、子どもたちの教育活動に支障がないようにしたいと思っています。

4月に仮園舎への引っ越しということから始園式・入園式の準備が遅れますので、当面の行事について、次のように計画し対処したいと思います。

- 平成30年度始園式・・・4月16日(月)
- 平成30年度入園式・・・4月18日(水)
- 新入園児のみの登園・・・4月19～20日

- 全園児登園・・・4月23日(月)
- たんぽぽ入会式・・・4月24～27日

高校生による音楽のプレゼント

先日、2回にわたって筑紫女学園高校のお姉さんたちによる音楽のプレゼントがあり、年少～年長の子供たちは、楽しいひと時を過ごすことができました。これが、他の幼稚園では見られない筑女ならではのよい所で、いつでもお隣の中学校・高校と連携を深めることができます。昨年度から、高校では、幼稚園児のための音楽づくりの授業が試みられています。簡単な音楽劇や自作の歌を園児と一緒に楽しむように計画されています。

